

UAEでアルミ活用発信

アルハイテック 事業展開探る

環境ベンチャーのアルハイテック(高岡市)は31日(6月1日、アラブ首長国連邦(UAE)産業・先端

技術省が主催するフォーラムに参加し、廃アルミから水素を発生させる技術を発信する。現地企業との商談に臨み、資金調達や回国での事業展開を探る。

フォーラムには日本の企業10社が参加する。アルハイテックは、水木伸明社長らが現地入りし、アルミか

ら水素を生成する技術をはじめ、発電や温浴施設の加温に利用するシステムを紹介する。

日本とUAEは今年1月、先進的な脱炭素技術を持つ日本のスタートアップ企業と、UAEの投資家をつなぐ連携枠組み「日UAE先端技術調整スキーム」の設立に合意した。アルハイテックはこの枠組みで、UAEに廃アルミ活用の技術を提案し、今回のフォー

ラムに招待された。

UAEは、日本の原油輸入の3分の1を占める産油国。世界最大のアルミ精錬会社があり、世界有数のアルミ生産国でもある。アルハイテックによると、2030年後の産業発展に向け、水素関連技術に関心を持っているという。同社の担当者「今回の技術発信は大きなビジネスチャンス。大手企業との提携、資金調達も合わせて商談したい」と話した。